

農地利用最適化推進委員候補者として募集に応募した者の名簿

応募

募 集 に 応 募 す る 者									
氏 名	応募する地域	性別	年齢	職業	経 歴		農業経営の状況		応募理由・抱負
					年月日	経歴・職歴・公職歴 ・団体の役職歴	主要な作物等	面積等	
福永 俊介	谷山地域	男	39	会社員	R6.4～ R6.4～ R6.4～	星ヶ峯ニュータウン町内会長 星峯中学校PTA副会長 五ヶ別府保全隊	—	—	実家近くの福永さんが長く農業委員をされていて私も今は実家手伝いではありますが、農業にたずさわることになりますので勉強をして、地域の皆様のお役に立てばなと思い応募しました。年配の方が多いので、色々考え方など勉強させてもらい、農地等の利用の最適化の為に農業推進委員として頑張っていきたいです。
満吉 秀巳	中央地域 谷山地域 伊敷地域 吉野地域 吉田地域 桜島地域 松元地域 郡山地域	男	70	団体職員	S50.3 S51.4～H24.3 H24.4～H27.4 H27.5～	東海大学卒業 鹿児島県土地改良事業団体連合会入会 ・会員支援室地域支援課長兼土地改良区対策センター長 ・管理部地域支援課長 ・管理部次長 ・大隅事務所所長 鹿児島市道路管理課地籍調査係 鹿児島県土地改良事業団体連合会地域支援課	水稲	自作地0.5 アール	1番の関心事は優良農地を守るのは当然ですが、遊休農用地耕作放棄地の解消であり、これから先、農地の再整備造成等は難しいと考えています。耕作条件を整えたとしても農業者の定着が進まない状況が見受けられます。既存の農業・農地を守るためには、私は農業を守るためには当該農業集落を守ることがとても大事なことだと思っています。農業集落が元気であれば農業は守れる。それが持論です。これまで土地改良事業団体での経験から培われたものです。そのような事から農業の最終兵器である地域を巻き込んだ多面的機能支払交付金等(農地中間管理機構・中山間地域等直接支払)の経験を活かし、耕作放棄地、遊休農地の解消等を含め得意分野を活かして委員として貢献したいと考えて応募致しました。
尾花 創史	中央地域 谷山地域 伊敷地域 吉野地域 吉田地域 桜島地域 喜入地域 松元地域 郡山地域	男	47	団体職員	H21.3 H21.4～H25.8 H25.9～H28.3 H28.4～H31.3 H31.4～ H30.4～R3.3 R4.12～R6.2 R4.4～R6.3 R4.5～R6.4 R6.4～	久留米大学大学院法務研究科 修了 JAあいら 入組 株式会社豊和銀行 入行 湧水町商工会 入会 公益財団法人 鹿児島県住宅・建築総合センター 入社 現在 課長補佐 霧島市 男女共同参画審議会委員(2期) 民生委員・児童委員(1期) 霧島市立 国分西小学校PTA副会長(1期) 霧島市 農地利用最適化推進委員(1期) 鹿児島県立武岡台特別支援学校PTA理事	—	—	霧島市で農地利用最適化推進委員を1期3年務めさせていただき、推進委員として、国分重久・清水地域といった国分でも農業が盛んな地域を中心に業務を行ってきたことから、そこで培った経験や知識を鹿児島市でも活かしてみたいと考え、応募させていただきました。鹿児島市の推進委員の業務はこれからですが、霧島市での経験を活かして頑張っていきたいと考えております。何卒よろしくお願ひします。
川原 勝徳	谷山地域	男	74	農業	S44.3 S44.4～S51.10 S52.4～H23.10 H23.11～ H23.4～H27.3 H23.4～ R1.5～	鹿児島実業高校卒業 除川建設(東京)勤務 調理師業務(岩崎谷荘、ホテルニューカゴシマ、サンロイヤルホテル他) 就農 現在に至る 玉利町内会長 JA鹿児島みらい農業協同組合玉利地区総代 現在に至る 農地利用最適化推進委員に就任 以後現職	露地野菜・施設野菜・果樹	自作地20 アール	農地最適化推進委員に委嘱を受けた際は地域計画の推進と遊休農地や耕作放棄農地の解消を他の委員と協力して健全な農地利用を進めて行きたいです。

農地利用最適化推進委員候補者として募集に応募した者の名簿

応募

募 集 に 応 募 す る 者									
氏 名	応募する 地域	性別	年齢	職業	経 歴		農 業 経 営 の 状 況		応 募 理 由 ・ 抱 負
					年月日	経歴・職歴・公職歴 ・団体の役職歴	主要な 作物等	面積等	
帖地 美宏	喜入地域	男	64	農業	S56.3 S56.8～S58.12 S59.9～R3.3 R3.4～	九州理工専門学校(土木工学科)卒業 三州技術コンサルタント(株)勤務 喜入町役場～鹿児島市役所勤務(内農林関係15年) 就農。現在に至る	水稲・露地野菜	自作地50 アール	喜入地域における農地の現状を把握し、農地の貸し借りや農業への関心を深め、農地を守り農業を次の世代へつないでいくことが少しできればと思っております。